

令和3年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター、岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	【文化センター】岐阜市金町5丁目7番地2 【市民会館】 岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	340,594,629 円		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	【文化センター】催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2 【市民会館】ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

文化センター		R3上半期	R2下半期	R2上半期	R1下半期	R1上半期
利用者数(単位:人)		17,719	32,640	9,352	57,727	63,334
各室稼働状況(%)	催し広場	27.3 %	30.5 %	13.4%	42.2%	29.8%
	小劇場	33.4 %	37.2 %	7.8%	47.8%	37.0%
	練習室	35.1 %	34.4 %	17.8%	36.4%	41.8%
	展示室	37.2 %	39.9 %	17.5%	36.4%	35.9%
	会議室	19.7 %	28.2 %	18.0%	45.0%	42.3%
	音楽関係室	15.8 %	14.3 %	10.6%	32.3%	32.7%
	美術工芸室	21.2 %	20.4 %	19.0%	27.6%	30.1%
	和室	23.5 %	15.1 %	4.5%	14.0%	15.2%

市民会館		R3上半期	R2下半期	R2上半期	R1下半期	R1上半期
利用者数(単位:人)		25,419	21,642	11,437	51,197	65,361
各室稼働状況(%)	大ホール	44.7%	29.6%	10.3%	34.1%	27.0%
	展示ギャラリー	33.3%	18.7%	11.2%	28.8%	36.0%
	会議室80	25.5%	17.7%	13.9%	21.2%	24.0%
	会議室48	29.8%	25.5%	16.2%	28.2%	35.1%
	多目的ルームA	25.7%	19.4%	14.0%	20.4%	40.2%
	多目的ルームB	29.4%	22.5%	13.2%	24.7%	36.3%
	練習スタジオ	25.4%	27.5%	12.3%	25.6%	34.6%
	和室	27.4%	26.5%	16.4%	20.7%	21.7%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守されており、適切な運用が行われている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページ、SNS、広報誌、独自に隔月発行する催し物案内等を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者にアンケートを配布。実施期間を設けて、積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。
自主事業・共催事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)&出前講座(能楽) ③音楽の絵本 プリランテ ④第43回ぎふアジア映画祭 ⑤市民スタッフ事業 ⑥第30回・31回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ⑦ぎふ演劇ワークショップ2021 ⑧岐阜市中学校美術作品展2021 ⑨公共ホール現代ダンス活性化事業 ⑩「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑪戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑫市民スタッフ育成事業 ⑬グランドピアノ練習支援事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・【オーディション】7月11日(日) 参加者12人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(琴)&出前講座(能楽) ・【体験教室・発表会】7月17日(土)、24日(土)、31日(土) 参加者36人 (小学校への能楽出前講座は下半期で実施予定) ③音楽の絵本 プリランテ ・9月5日(日)→11月14日(日)※延期 ④第43回ぎふアジア映画祭 ・4月より月1回市民スタッフとの企画会議を実施 ⑤市民スタッフ事業 ・4月より月1回市民スタッフとの企画会議を実施 ⑥第30回・31回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉 ・【第30回募集審査会】7月21日(水) 特別支援枠7団体採択 ・採択事業【シャララ万博カーニバル in 岐阜】8月8日(日)312人 ⑦ぎふ演劇ワークショップ2021 ・【高校生対象】5月4日(火・祝) ・【中学生対象】7月28日(水) ⑧岐阜市中学校美術作品展2021 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑨公共ホール現代ダンス活性化事業 ・11月の実施に向けて講師との打ち合わせなどを実施 ⑩「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・【夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室】※中止 ・【七郷小学校出前コンサート】※延期 9月16日(木)→11月26日(金) ⑪戯曲セミナー&リーディング発表会 ・7月より月1～2回のペースでセミナーを実施 参加者27人 ⑫市民スタッフ育成事業 ・6月26日(土)に全体会議を実施 ⑬グランドピアノ練習支援事業 7月3日(土)、4日(日)、8月3日(火)～5日(木)、17日(火)～19日(木) 参加者92人
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤各種点検業務	①日常清掃、定期清掃を実施。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常清掃時に手すり、ドアノブ等の消毒を実施している。 ②巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ③受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助について計画通り実施している。 ④貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施している。 ⑤実施計画に基づき、順次実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 【文化センター】 ・小劇場音響室エアコン修繕 ・事務室防犯カメラ用モニター修繕 他 【市民会館】 ・上手楽屋軒下修繕 ・楽屋口修繕 他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報保護規定を作成・運用している。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、消防・防災訓練等を計画的に実施している。また、普通救命講習の受講など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営が行われている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	【文化センター】 ・8月1日から9月15日までの施設利用者にアンケートを実施。催し広場、小劇場の利用者には通年でアンケートを行うなど計画的に取り組んでいます。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(受付カウンター)に設置しています。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、改善に努めています。 【市民会館】 ・5月3日から7月3日までの施設利用者にアンケートを実施。大ホール利用者には通年でアンケートを行うなど計画的に取り組んでいます。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階東棟ロビー)に設置しています。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、改善に努めています。
利用者アンケートの実施結果	【文化センター】 「今後も利用したい」の項目で98%の利用者が「思う」と回答しており、満足度の項目はいずれも「非常に良い」「良い」がおおよそ8割の評価でした。ご意見を記入する項目では「説明もわかりやすく、アンプ等も問題なく使えて良かったです。ぜひまた利用させてください。」などリピーターを中心に、多くの利用者に快適にご利用いただいています。 【市民会館】 「今後も利用したい」の項目で100%の利用者が「思う」と回答しており、満足度の項目はいずれも「非常に良い」「良い」が8割を超える評価でした。ご意見を記入する項目では「事前の電話対応から当日まで、対応が本当に丁寧でありがたかった。」などリピーターを中心に、多くの利用者に快適にご利用いただいています。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	【文化センター】 ・和式トイレ→洋式トイレに改善してほしいです。 →洋式トイレについては、岐阜市へ要望を伝え、順次改修を進めている旨説明し、ご理解いただきました。 ・トイレの清掃の時間が利用時間とよく重なるので、トイレが使用できないことがあるので、重ならないとうれしい。 →文化センター全館の利用時間を考慮しながら清掃しているため、今後も重なる時はあり得ることを説明しました。 また、清掃中もお声掛けいただければ使用が可能である旨ご理解いただきました。 ・クーラーが効きにくい。(展示室) →コロナ対策により、窓やドアを開放したことが原因と考えられる。二酸化炭素測定機を貸出して換気の目安にして、適度に部屋を冷やしていただくよう依頼しました。 ・ネット環境を充実させて欲しいです。 →会議室については来年度にネット環境の整備を予定しています。 【市民会館】 (多目的ルームAの利用者より) ・2階にも、非接触型のアルコールがあつたほうがよい。 →今までもアルコール消毒液をロビーに配置していましたが、非接触型のものを購入し設置しました。また同時に東棟ロビー2階だけでなく北棟ロビー2階、大ホール1階男女トイレ前にも常設設置しました。 ・ドアを開けたままにしておく止め木の使い方がすぐにわかりませんでした。 →今後、使用について不明な点があればご説明するとともに、ドアに挟む形のドアストッパーも併せてご案内します。 ・前回までは気にならなかったのですが、FreeWi-Fiのつながりが悪くてイライラしてしまいました。 →職員が確認しましたが、スムーズに繋がりました。当日の利用している人数(アクセス集中)や環境によって不安定になる場合があるため、お客様にはご説明してご理解いただくよう努めます。また、同様のご意見が重なる場合には機器に問題がないか等確認していきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	S	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	S	S
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があつたか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	S	S	S
		指定事業・自主事業(共催事業)の内容	・施設の設置目的にあつた事業となっているか。成果があつたか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	A	A	A
	区 分 評 価					A
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	S	A	A
	区 分 評 価					A

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
安定性 安全性	管理を安定して 行う物的能力、 人的能力を有 していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の 経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知 識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	S	S	S
		職員の管理・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備さ れ、適切に実施されているか。	S	A	A
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策 は適切か。	A	A	A
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、 グループの安定性	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整 備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られてい るか。			
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
		区 分 評 価				A
貢献性	岐阜市あるいは施設がある 特定の地域(以下「地元」とい う。)の振興、 活性化などに 貢献してるか	地元の法人その他の団体の育成(一部 業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	A	A	A
		区 分 評 価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 ・令和3年度上半期において、文化センターと市民会館の施設使用料は、いずれも昨年度比で約720万円の増加となりました。昨年度上半期では、新型コロナウイルス感染症の影響によってほとんどの団体で利用を自粛されましたが、今年度上半期では新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催する団体が増えたことで、昨年度よりも施設使用料が増加しました。打合せ等で新型コロナウイルス感染症対策の説明を丁寧にするにより、利用団体に安心感を与え、新規団体の獲得やリピーターの確保につながるように努めました。 ・利用相談会では、多くの団体に来場いただき、新型コロナウイルス感染症対策の説明や無料貸出の備品を実際にご覧いただくなど今後の催事の開催に向けた支援を行うことができました。 2. 利用者・来館者への情報提供 ・利用者や来館者には、市の指針に基づく新型コロナウイルス感染症対策について周知徹底を図り、また、適宜見直される利用条件についてもホームページだけではなく、利用者に電話等で丁寧の説明を行うなど感染対策に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、コロナ禍により影響を受けた文化芸術団体の皆様に対し、国や自治体が実施する助成金等の支援事業をホームページにて周知するほか、窓口や郵送でも積極的にご案内しました。 ・文化会館では、今年度よりSNS(Twitter、Facebook)のアカウントを開設し、幅広い世代に当館の情報がいき渡るようにPRIに努めました。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ ・施設管理の経験豊富なスタッフが関係部署と協力体制を構築し、先を見越した修繕や利用者の安全及び利便性に繋がる修繕を適切かつ効率的に実施しました。 →文化センターでは、展示室クロス貼替修繕や展示室控室網戸取付修繕などを実施し、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小劇場ホワイエの換気扇を独立して操作可能にする換気扇配線修繕を実施しました。 →市民会館では会議室80の扉修繕や上手楽屋シャッター修繕などを実施し、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民会館事務所換気扇取付や自動水洗取付修繕を実施しました。 ・臨時休館中の光熱費の使用は最低限とし、省エネに努めました。 4. 利用者のニーズに応えた新型コロナウイルス感染症対策 ・飛沫防止にも使える案内表示のためのフロアスタンドを増設し小劇場ロビー等に自動式手指消毒器を追加しました。 ・適切なフィジカルディスタンスを促すラバーマットや飛沫防止用ビニールシート、二酸化炭素測定器などを購入しました。 ・「新型コロナウイルス感染対策無料備品」の一覧を作成・貸出を行い、利用者サービスの向上に努めました。 5. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ・「楽市JAZZ楽団」事業では、昨年度に引き続き独自のチェックシートやマニュアルを整備して検温やビニールシートによる感染予防対策を実施し、7月から練習を開始しました。また、昨年度に実施できなかったオーディションを5月から7月に延期して実施し、中学生から70代までバラエティ豊かなメンバーを迎えることが出来ました。 ・「グランドピアノ練習支援事業」では今年度初の試みとなりましたが、いずれの日程も受付開始30分ほどで定員に達し、市民からの需要の高さが伺えました。下半期にも同事業を実施予定であるため、さらなる広報等に努めていきます。 ・「子ども伝統文化体験教室(琴)&出前講座(能楽)」事業では、昨年度実施できなかった夏休みの体験教室を実施し、多くの子供達が3日間の日程で日本の伝統文化に触れる機会を提供しました。 ・「第43回ぎふアジア映画祭」、「市民スタッフ事業」では、月1回、企画会議を行っています。web参加を可能にしたり、休館などで会議が行えない場合でもメールなどで情報を共有するなどして、市民スタッフとの協働に努めました。 ・「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉」事業では、コロナ禍により多大な影響を受けた文化団体のため、応募条件などを緩和した「特別支援枠」を新設し、上半期では7事業を採択しました。 ・上半期は、2度に渡る臨時休館もあり、「楽市JAZZ楽団」事業や「戯曲セミナー&リーディング発表会」事業では練習やセミナーの中止、「音楽の絵本ブリランテ」事業は延期を余儀なくされました。前者について講師・メンバーへの連絡、後者についてもプロモーターや所管課と延期日程や返金対応等について調整することで、影響を最小限に留めることが出来ました。
------------------	---

前回までの意見を踏まえた取組み状況	・利用者からは、「感染症予防対策の適切な対応と利用者回復に向けたきめ細かなサービスの提供・管理運営」についてご評価いただきました。 ・安心して施設をご利用いただくため、小劇場ホワイエに利用者が換気を容易にできるよう換気扇を独立して操作を可能にし、施設内の環境整備に努めました。 ・自主事業については、昨年度に引き続き、感染症対策を徹底して実施しており、延期となった事業については、チケットを購入済みの方全員に延期の案内と払い戻しの対応をするなど、トラブルのないよう運営に努めました。
今後の取組み	これまでの取組状況を踏まえ、より一層の利便性の向上及びホスピタリティの向上に努めていきます。具体的には次の通りです。 1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保に努めます。 ・岐阜市文化会館の館内ストリートビューを導入し、WEB上で館内を閲覧できるようにします。 ・外国人や目の不自由な方でも平等に施設を利用できるように、館内の案内表示等について多言語表記(英語)や点字表示の充実を図ります。 ・劇場(客席内)のヒアリングループマークを表示し、ご利用いただける施設であることを周知します。 ・コロナ禍以前の利用状況と比較すると、文化団体の定期利用などはまだ復調していない状態です。ロビーや会館のホームページ・SNSで文化団体の会員募集をサポートし、定期利用団体の活動を支えることで文化活動を促進し、定期利用の推進を図ります。 ・下半期に予定している利用相談会では、コロナ禍における感染症対策として利便性の高い無料備品を紹介するとともに、施設の活用方法を提案することで、新規利用者の獲得及び稼働率の向上に努めます。 2. 利用者への情報提供に努めます。 ・利用者や来館者及びスタッフの感染症予防に努めるとともに、利用の打合せの際など感染リスクの低減を図るための施策を徹底していきます。 ・新型コロナウイルス感染症の収束が予測できない状態にあるため、今後も利用制限の変更などがあれば利用者に告知し、適切かつ丁寧なサポートを行っていきます。 ・文化会館ではSNS(Twitter、Facebook)のアカウントを開設し、今年度より運用を開始しています。催し物案内やチラシ等の紙面でのPRのみならず、SNSでのPRにも努めています。 ・文化センター、市民会館ロビーに岐阜市観光案内コーナーを設置します。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネに努めます。 ・文化センターは開館から37年、市民会館は54年が経過し、施設や設備の不具合が増えてきています。長期的な改修計画を岐阜市に提案するとともに、利用者が快適にご利用いただけるように故障や不具合の早期発見を心掛け、迅速な修繕に努めます。 ・冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるよう、省エネマニュアルに沿って光熱水料費の節約に努めます。 4. 利用者のニーズに応えた新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施します。 ・施設や備品の消毒及び特別清掃、消毒液の設置など新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、利用者に安心安全にご利用いただけるよう対応します。 ・新型コロナウイルス感染症対策について、岐阜市との連携を密にすることで迅速に対応し、利用者への的確な情報提供に努め、自主事業においても適切に情報共有して判断します。 ・職員や利用者、来館者の感染が判明した場合、速やかに適切な対応がとれるようマニュアルを適宜更新していきます。 ・安心して施設を利用いただけるよう新型コロナウイルス感染症対策への対応や利用方法について丁寧にご説明し、利用の定着を図ります。 5. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」事業では、第14回ぎふジャズフェスティバルに向け月1～2回ペースで練習し、1月に本番を実施します。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会＆出前講座」では、年度内に市内小学校で能楽出前講座を実施します。 ③「音楽の絵本 プリランテ」では、11月に公演を実施します。 ④「第43回ぎふアジア映画祭」では、10月30日(土)から11月28日(日)にかけ、アジアの8作品を上映し、上映作品の内容も踏まえて、パネル展や文化講座などの特別企画も実施します。 ⑤『結成40周年記念「鼓童ワン・アース・ツアー2021」』では、12月に公演を実施します。 ⑥「市民スタッフ事業」では、12月18日(土)に「ぎふ文化センター寄席」として落語家昔昔亭A太郎の落語、寄席紙切りの第一人者である林家正楽による紙切りを実施します。 ⑦「第31回市民プロデュース公演応援プロジェクト＜公募＞」では、企画募集を11月から実施し、審査会を来年1月に開催します。 ⑧「ぎふ演劇ワークショップ2021」では、12月から参加者を募集して来年2月に一般の部を、3月に中学生の部を実施します。 ⑨「岐阜市中学校美術作品展2021」では、引き続き1か月単位で市内中学校2校による共同展示を実施します。 ⑩「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、11月にアウトリーチ3回、ワークショップ1回を実施します。 ⑪「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、10月に「CINEMA&JAZZ」、10月、11月に「学校出前コンサート」を実施し、11月には「さんぽde野外ライブ」で演奏します。 ⑫「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、セミナーを月1、2回ペースで実施しており、2月の「優秀短編発表会」に向けて、選出した優秀短編戯曲の舞台化と、昨年度実施できなかった15周年記念の演劇を実施します。 ⑬「白石加代子「百物語」シリーズ アンコール上演」では、1月に公演を実施します。 ⑭「グランドピアノ練習支援事業」では、年度内に文化センター小劇場にて開催予定です。

●所管課の意見

常事態宣言に伴う休館により、貸室などの施設の運営管理の影響は大きかったものの、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症対策に関するノウハウを蓄積し、施設利用者や来館者に安心して利用できるよう配慮している。また、休館中でも開催できるオンライン利用相談会を実施するなど、利用促進に向け、取り組んでいる。

指定事業等において、中止や延期となった事業はあったものの、チケット購入者への延期事業の開催案内や開催に係る手続きを迅速に行うなど、コロナ禍において、市民が文化芸術に触れられる貴重な機会が失われないよう、適切な対応に努めている。

広報においては、昨年度から開始したSNSを活用し、指定事業等のイベント開催告知や活動状況などの情報を随時更新し、イベント来場者の集客に役立てている。

非常事態宣言の発令等により文化施設を取り巻く環境が一変し、施設の運営管理は難しい局面にある。そうした中で、利用者目線のきめ細やかなサービスの実施により、市の文化芸術振興に大きく寄与している。今後も状況に合わせた適切な運営管理に期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

コロナ禍において、利用者数が減少しているため、それに伴い、引き続き、適切な執行及び経費の縮減に努められたい。